新たな旅へ出港 6月22日(金)

宮蘭 岩手県 北海道

フェリー就航祝

6月22日から、岩手県宮古市と室蘭の間にフェリー航路がいよいよ就航します。室蘭では10年ぶり、岩手県では初めてとなるこの航路は、「宮蘭航路」と名付けられました。

フェリーで新たにつながる岩手県宮古地方は、盛岡南部藩の港として江戸時代初期から栄えてきた港まちです。開港から400年余り、サケの水揚げは本州でも随一を誇ります。

室蘭ともゆかりがある宮古の歩みと、その**みどころ**をご紹介します。

宮古 8:00 – 18:00 室蘭着
室蘭 20:00 – 6:00 宮古着

岩手県随一の名勝「浄土ヶ浜」

多くの景勝地が連続する岩手県沿岸においても、随一の名勝「浄土ヶ浜」。その名は江戸時代にこの地を訪れた霊鏡和尚がその美しさに驚嘆、「さながら極楽浄土のごとし」と漢詩に詠んだことに由来します。灰白色の流紋岩からなる鋸歯状の絶壁やアカマツの緑、紺碧の海との対比が独特の景観を生み出し、年間を通して観光客で賑わっています。遊覧船や、さっぱ船（小型の磯船）で海から名所をめぐることもできます。

▲宮古が誇る名勝「浄土ヶ浜」

「史跡崎山貝塚」とミュージアム

海に面した港まち宮古では、先史時代から人の営みが確認されています。その中でも国指定の史跡となっているのが崎山貝塚。約6千年前から2千500年間にわたり営まれた集落です。

ここに隣接している、今年開館2周年をむかえる「宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム」では、宮古の遺跡をもとに、この地域の歩みを紹介しています。

▲ミュージアムの展示

◆宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム
住所　宮古市崎山第1地割16番地1
入館料　一般200円
　　学生150円（高校生以下は無料）
《詳細》同ミュージアム
☎0193-65-7526

豊かな自然と山深い地域での生活

港まちとして室蘭と共通する宮古ですが、異なる特徴がその山深さ。市域面積は92%が山林で、北上山地の最高峰「早池峰山」を抱き、閉伊川の上流には山あいの暮らしが息づいています。

早池峰山とその周辺は、ハヤチネウスユキソウやナンブトウウチソウなどの早池峰山特産種をはじめとする高山植物が多く生息し、一帯が国の特別天然記念物に指定されています。

また、林業をはじめとする山あいの土地での生活用具の数々は、国指定の重要有形民俗文化財です。「宮古市北上山地民俗資料館」では、樹皮など自然の素材を使った、伝統的な小物作りなどを体験することができます。

▲国指定文化財が多く展示される資料館

◆宮古市北上山地民俗資料館
住所　宮古市川井第2地割187番地1
入館料　一般200円
　　学生150円（高校生以下は無料）
《詳細》同館　☎0193-76-2167

室蘭にも来ていた？藩船「虎丸」

盛岡南部藩の外港として発展した宮古。幕末には藩船である「虎丸」の母港でした。虎丸は、蝦夷地と呼ばれていた北海道の警備のために、兵員の輸送などで往来していたことが知られています。また、南部家の家紋を掲げた船が今の陣屋付近に来航していた絵図も残されています。6月から就航する宮蘭航路は、幕末以来の両地域往来の再復活ともいえるのです。

▲虎丸（もりおか歴史文化館蔵）

▲陣屋沖に描かれた盛岡南部藩船（もりおか歴史文化館蔵）

現在陣屋町にある南部陣屋の史跡は、幕末に道南沿岸の警備に当たった盛岡南部藩が、室蘭に造った防衛拠点です。このほか湾内を望む数か所に、台場（砲台）が築かれ大砲が備えられました。同じ頃、宮古でも港を望む高台に台場が築かれ、今ある「御台場展望台」は、これに由来しています。

室蘭市内には、南部陣屋の史跡のほか、崎守町の台場・勤番所跡が現存しています。警備に使われた砲弾は、市の指定文化財で、陣屋にある民俗資料館で見ることができます。

▲南部藩陣屋跡出土砲弾

幕末の動乱を決した「宮古港海戦」

明治2年3月25日、旧幕府軍が、北進する明治新政府軍の軍艦を奪い取ろうと宮古で起きた海戦です。旧幕府軍の軍艦「回天」が、未明に新政府軍の艦隊に突入したものの、30分ほどの戦闘の間に多くの死傷者を出し退却。これにより戊辰戦争の勝敗がおおよそ決したといわれ、宮古には港を望む高台に、この海戦を記念し浄土ヶ浜記念碑が残されています。

その年の5月18日に箱館（函館）の五稜郭が陥落。さらに25日に室蘭に駐留していた旧幕府軍200名余りが降伏し、幕末の動乱は終結したのです。室蘭には、戦前まで旧幕府軍の大砲が現存していたとされ、宮古と室蘭は、共に明治維新の舞台でもあるのです。

▲宮古港海戦（宮古ホテル沢田屋蔵）

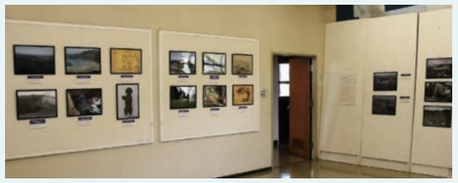
宮古歴史文化写真展「宮古のまちの歩みを巡る」

宮古のまちの歩みや自然の特徴などについて、写真でご紹介します。

◆日時　～7月8日（日）まで　10:00～16:00
◆会場　室蘭市民俗資料館（陣屋町2-4-25、観覧無料）

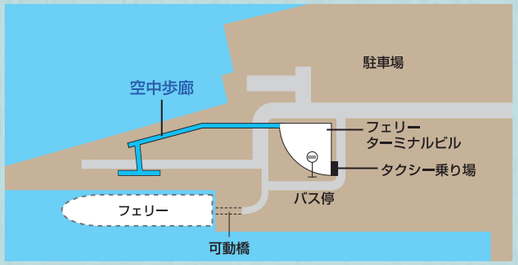
6月30日（土）
11:00～（1時間程度）ミニ講演「宮古港のあゆみ」＋展示解説

宮古市教育委員会の假屋市史編さん室長と長谷川学芸員をお招きして、ミニ講演と、展示解説を行っていただきます。（申込不要、当日会場まで）



《詳細》室蘭市民俗資料館 ☎0143-59-4922

フェリーターミナル周辺のご案内



▲フェリーターミナルビル

▲可動橋（車両の乗り入れ）

《詳細》室蘭市港湾部 ☎0143-22-3191